

令和2年（2020年）1月14日

報道機関各位

第6回道総研オープンフォーラム

ふるさと

「人口減少社会の到来！北海道で暮らし続けるために、いま何をすべきか」
の開催

令和2年2月21日（金）に道総研の研究成果を発表するフォーラムを開催します。

フォーラムでは、下川町の谷町長をお招きし、「持続可能な地域へ向けた下川町の取り組み～SDGsを取り入れた未来へのアプローチ」と題して基調講演をいただきます。後半は、道総研が取り組んできた農村集落における戦略研究（暮らしを支える研究、地域産業を支える研究）の研究成果をご紹介します。自治体や地域づくりに携わる皆様へ様々なアイデアをご提案いたします。

つきましては、多くの方々に御参加いただけるよう、事前報道にご協力をお願いします。あわせて、事前及び当日の取材希望もお気軽にご連絡下さい。

◎日 時 令和2年（2020年）2月21日（金） 13：30～17：00

◎場 所 札幌ガーデンパレス 2階 孔雀・白鳥の間（札幌市中央区北1条西6丁目）

◎内容

【基調講演】

持続可能な地域へ向けた下川町の取り組み～SDGsを取り入れた未来へのアプローチ
下川町長 谷 一之 氏

【成果発表】

- ・戦略研究の成果概要 西村 直樹（道総研十勝農業試験場 場長）
- ・暮らしをまとめる・続ける－居住地の集約化と交通利便性の確保－
松村 博文（道総研北方建築総合研究所 副所長）
- ・まちおこしを見える化する－産業振興施策構築に向けた対策手法の開発－
白井 康裕（道総研中央農業試験場 主査）
- ・センサでお年寄りの暮らしを見守る－ICTを活用した見守りシステムの開発－
橋場 参生（道総研産業技術研究本部 企画調整部長）

【ポスターセッション】

- ・戦略研究「農村集落における生活環境の創出と産業振興に向けた対策手法の構築」の成果の展示

◎主 催 地方独立行政法人北海道立総合研究機構

◎後 援 北海道、北海道開発局、下川町、喜茂別町、美深町、富良野市、南富良野町、
(株)道銀地域総合研究所

◎参加費 無料

◎申込み 参加申し込みフォームから事前申し込みをお願いします（定員300名、締切2/14）
※詳細については、下記ホームページをご覧ください。

http://www.hro.or.jp/info_headquarters/event/event/200221_6thOpenForum.html

※参加申し込みフォーム <http://www.hro.or.jp/entry.html>

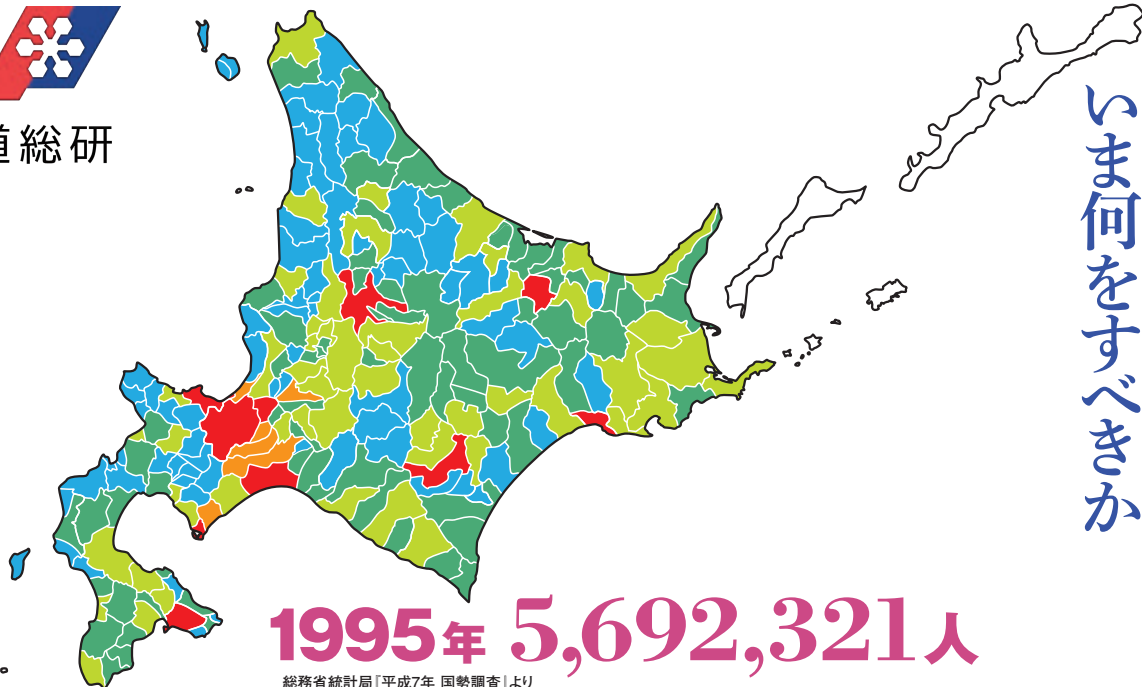
詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）研究企画部 石井

電話 011-747-2809 ※平日8:45～17:30 土・日・祝日・年末年始はお休みです。



道総研



1995年 5,692,321人

総務省統計局「平成7年 国勢調査」より

人口減少社会の到来！
 北海道で
 暮らし続けるために
 いま何をすべきか

第6回

道総研オープンフォーラム

令和2年

2月21日(金)

13:30~17:00

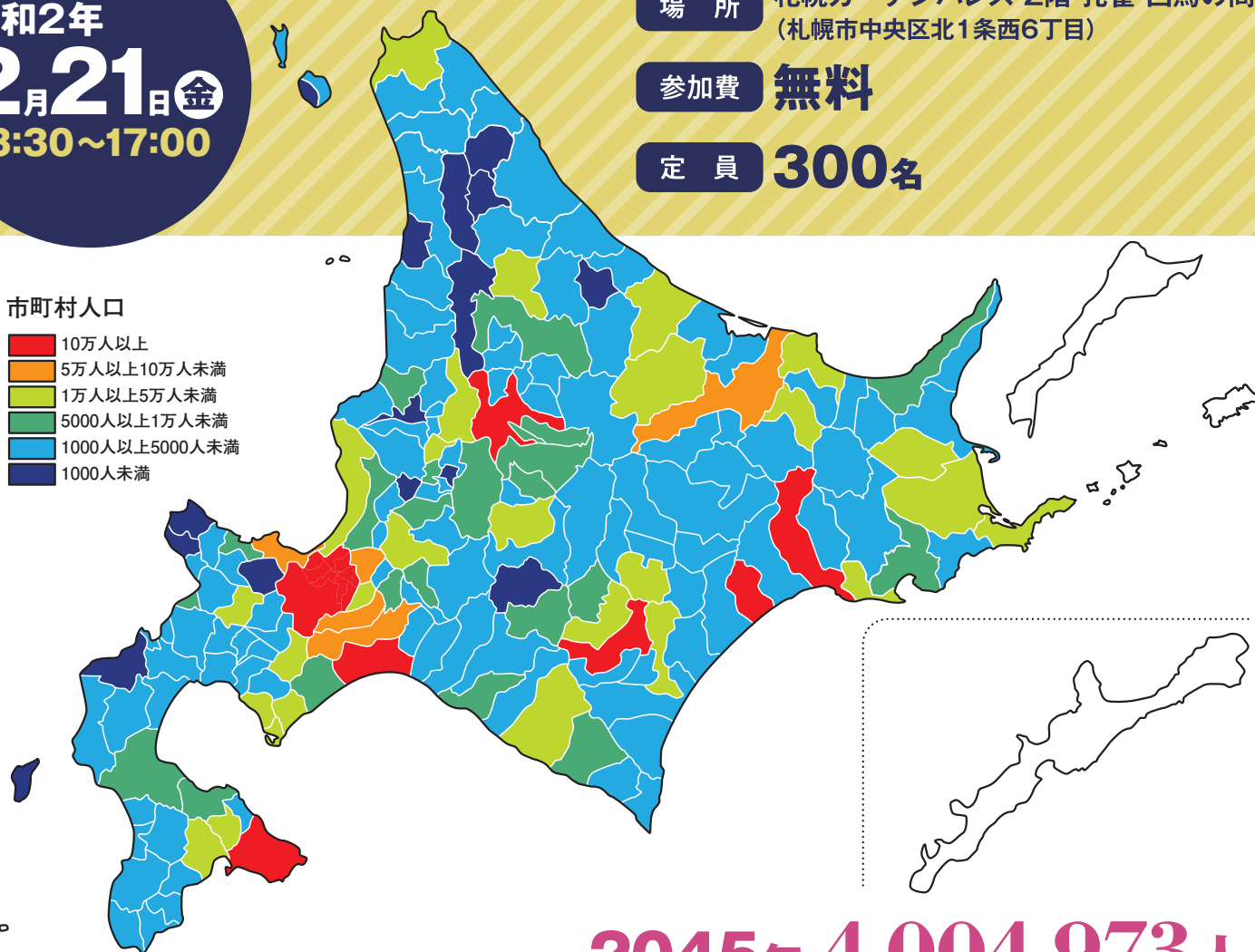
場所 札幌ガーデンパレス 2階 孔雀・白鳥の間
(札幌市中央区北1条西6丁目)

参加費 無料

定員 300名

市町村人口

- 10万人以上
- 5万人以上10万人未満
- 1万人以上5万人未満
- 5000人以上1万人未満
- 1000人以上5000人未満
- 1000人未満



2045年 4,004,973人

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より



地域生活・産業

Community Design & Business

「農村集落における生活環境の創出と産業振興に向けた対策手法の構築」

主催：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 ■後援：北海道、北海道開発局、下川町、喜茂別町、美深町、富良野市、南富良野町、(株)道銀地域総合研究所

人口減少社会の到来！

ふるさと

北海道で暮らし続けるために、 いま何をすべきか

日時：令和2年2月21日(金) 13時30分～17時00分(受付開始 12時30分)

場所：札幌ガーデンパレス 2階 孔雀・白鳥の間(札幌市中央区北1条西6丁目)

定員：300名(受付締切：令和2年2月14日(金)、ただし空席がある場合は当日参加可能)

主催：地方独立行政法人北海道立総合研究機構

後援：北海道、北海道開発局、下川町、喜茂別町、美深町、富良野市、南富良野町、(株)道銀地域総合研究所

フォーラム			13:30～17:00
開会挨拶	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 理事長	田中 義克	13:30～13:40
基調講演	持続可能な地域へ向けた下川町の取り組み ～SDGsを取り入れた未来へのアプローチ	下川町長 谷 一之 氏	13:40～14:40
成果発表			14:40～16:30
	● 戦略研究の成果概要	西村 直樹 (十勝農業試験場 場長)	
	● 暮らしをまとめる・続ける一居住地の集約化と交通利便性の確保	松村 博文 (北方建築総合研究所 副所長)	
	● まちおこしを見える化する一産業振興施策構築に向けた対策手法の開発	白井 康裕 (中央農業試験場 主査)	
	● センサでお年寄りの暮らしを見守る一ICTを活用した見守りシステムの開発	橋場 参生 (産業技術研究本部 企画調整部長)	

ポスターセッション 16:30～17:00

戦略研究「農村集落における生活環境の創出と産業振興に向けた対策手法の構築」の成果

【参加お申し込み用紙】 申し込み締め切り：令和2年2月14日(金) 空席がある場合は当日参加も可能です。

■参加ご希望の方は、エントリーフォームへアクセス、またはこの申し込み用紙にてFAXでお申し込みください。
(電話でのお申し込みも受付ます)

お問い合わせ・お申し込み先 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 電話 011-747-2809

FAX 011-747-0211 <http://www.hro.or.jp/entry.html>



お名前	ご住所(市町村まで)	年齢	会社名・所属	何でこのフォーラムをお知りになりましたか?

お預かりした個人情報は、本フォーラム以外の目的には使用しません。